## 参考: 救急搬送における重症度・緊急度判断基準作成委員会報告書(1)

救急搬送における重症度・緊急度判断基準作成委員会報告書 (平成16年3月(財)救急振興財団 委員長:島崎修次杏林大学教授)

※ 救急隊員が活用しやすいよう、心疾患や脳血管障害等の疾患別ではなく、症状を中心に10種類の重症度・ 緊急度判断基準を作成。

	外傷	熱傷	中毒	意識 障害	胸痛	呼吸 困難	消化管出血	腹痛	周産期	乳幼児
生理学的評価	意 識: JCS100以上 呼 吸: 10回/分未満又は30回/分以上、呼吸音の左右差、異常呼吸 脈 拍: 120回/分以上又は50回/分未満 血 圧: 収縮期血圧90mmHg未満又は200mmHg以上 SpO2: 90%未満、 その他:ショック症状 等 ※上記のいずれかが認められる場合									意識、呼吸、 脈拍、血圧、 SpO2等について新生児、 乳児、幼児に 分けて基準 を設定
症状等	_	・気道熱傷 ・他の外傷合 併の熱傷 ・化学熱傷 ・電撃傷 等	・有毒ガス ・覚醒剤、 麻薬	・進行性の 意識障害 ・重積痙攣 ・頭痛、嘔吐 等	•血圧左右差	<ul><li>・チアノーゼ</li><li>・起坐呼吸</li><li>・著明な喘鳴</li><li>・努力呼吸</li><li>・喀血</li></ul>	・高度貧血 ・頻回の嘔吐		<ul><li>・大量の性器 出血</li><li>・腹部激痛</li><li>・呼吸困難</li><li>・チアノーゼ</li><li>・痙攣</li><li>等</li></ul>	・脱水症状 ・重度の黄疸 ・痙攣持続 ・ぐったり・う
解剖学的評価	・顔面骨折 ・胸郭の動揺 ・穿通性外傷 ・四肢切断 等	_	l	Ι	_	_	_	Π	_	_
受傷機転	<ul><li>・車外へ放出</li><li>・車の横転</li><li>・高所墜落</li><li>・機械器具による巻き込み等</li></ul>	_	_	_	_	_	_	_	_	_

## 参考: 救急搬送における重症度 - 緊急度判断基準作成委員会報告書(2)

## 【傷病別のプロトコール】

• 重症度•緊急度判断基準

例: 胸痛

第1段階

意識: JCS100以上 呼吸: 10回/分未満または

吸 : 10回/分未満または30回/分以上

:呼吸音の左右差

:異常呼吸

脈拍: 120回/分以上または50回/分未満

血圧 : 収縮期<90mmHgまたは収縮期>200mmHg

Sp02 : 90%未満

その他 : ショック症状

※いずれかが認められる場合



第2段階

症状等

生理学的評価

- ・チアノーゼ
- ・心電図上の不整脈(多源性/多発性/連発/PVC、RonT、心室性頻拍等)
- ・20分以上の胸部痛、絞扼痛
- ・背部の激痛
- ・心電図上のST-Tの変化 ・血圧の左右差



・重症以上と判断した場合の医療機関選定は、救命救急センター等の三次救急医療機関、あるいはこれに準ずる二次救急医療機関及び地域の基幹病院とすること。